平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名　サイオステクノロジー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3744　URL　http://www.sios.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 喜多　伸夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　(氏名) 小林　徳太郎　TEL 03-6860-5105

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,416	18.5	76	―	73	―	1	―
23年12月期第3四半期	3,726	0.8	△162	―	△164	―	△184	―

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　△4百万円　(―%)　23年12月期第3四半期　△212百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	14.54	―
23年12月期第3四半期	△2,124.56	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,846	1,423	49.9
23年12月期	2,775	1,447	51.1

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　1,419百万円　23年12月期　1,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	13.5	50	―	50	―	0	―	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	88,744 株	23年12月期	88,744 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	2,040 株	23年12月期	2,040 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	86,704 株	23年12月期3Q	86,704 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（４）追加情報 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

＜当第３四半期連結累計期間の概況＞

当第３四半期連結累計期間における国内企業の情報化投資は、長期化する円高の影響や復興需要の一巡などにより、一部に弱い動きがみられ、緩やかなものにとどまりました。

このような中、当社グループは、ITを通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、引き続き高い市場成長が継続しているクラウドコンピューティング(*1)（以下、「クラウド」）や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア(*2)（以下、「OSS」）に関連する領域での活動を推進し、景気の波に左右され難い最先端分野での事業拡大に注力しました。

その結果、各セグメントの業績は、以下のとおりとなりました。

①オープンシステム基盤事業

当事業においては、引き続き営業・技術・マーケティングの各機能強化を行い、競争優位性の構築に努めています。「Red Hat Enterprise Linux」(*3)は、依然として旧製品の減収影響があるものの、現行製品の新規受注は堅調に推移しました。また、「LifeKeeper」(*4)の新規案件獲得は日米欧とも堅調に推移しました。これらにより、売上高は3,161百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は171百万円（前年同期はセグメント損失35百万円）となりました。

②Webアプリケーション事業

当事業においては、クラウド分野の製品・サービスやMFP関連ソリューション(*5)の提供が順調に伸長しました。これらに加え、第１四半期には、クラウドを活用したシステム導入支援における案件獲得及び納品が順調に推移し、当第３四半期連結累計期間における増収及び損失額の縮小に寄与しました。これらにより、売上高は1,255百万円（前年同期比37.2%増）、セグメント損益はクラウド分野において新たなビジネス創出に向けた研究開発費や営業・マーケティングに係る費用が発生したため、セグメント損失94百万円（前年同期はセグメント損失126百万円）となりました。

これらにより、当第３四半期連結累計期間における売上高は4,416百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は76百万円（前年同期は営業損失162百万円）、経常利益は73百万円（前年同期は経常損失164百万円）となりました。また、特別利益として新株予約権戻入益15百万円、事業譲渡益12百万円の計上、並びにサイオステクノロジー単体の利益向上に伴い、法人税、住民税及び事業税等104百万円を計上したこと等により、四半期純利益は１百万円（前年同期は四半期純損失184百万円）と黒字化を達成しました。なお、前述のように各事業が堅調に推移したため、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は240百万円（前年同期比247.5%増）となりました。

(*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(*2) オープンソースソフトウェア

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(*4) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp. (旧SteelEye Technology, Inc.)の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA(ハイアベイラビリティ)クラスターソフトウェア。

(*5) MFP関連ソリューション

MFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加240百万円、繰延税金資産の増加19百万円等の要因により、2,491百万円(前連結会計年度末比7.3%増)となりました。

固定資産は、のれんの減少78百万円等の要因により、355百万円(同21.8%減)となりました。

この結果、総資産は、2,846百万円(同2.6%増)となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の減少75百万円、前受金の増加44百万円、賞与引当金の増加47百万円等の要因により、1,302百万円(前連結会計年度末比6.9%増)となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加８百万円等の要因により、120百万円(同9.8%増)となりました。

この結果、負債合計は、1,423百万円(同7.1%増)となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において四半期純利益１百万円を計上しましたが、新株予約権の減少13百万円等の要因により、1,423百万円(前連結会計年度末比1.6%減)となりました。なお、平成24年３月22日に開催した第15期定時株主総会で決議された「資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分」が同年３月31日に効力を生じたことから、資本剰余金が389百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期につきましては、前述のとおり各事業とも堅調に推移しましたが、通期の業績予想は、事業環境が依然として不透明であるため、現時点での修正は行わず、平成24年７月27日公表の数値を据え置きとします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24条　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,418	1,421,243
受取手形及び売掛金	694,745	695,556
商品及び製品	764	150
仕掛品	29,349	27,100
原材料及び貯蔵品	277	277
繰延税金資産	13,068	32,803
前渡金	333,217	238,095
その他	80,281	83,111
貸倒引当金	△11,034	△7,254
流動資産合計	2,321,088	2,491,085
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36,158	30,976
その他（純額）	39,247	35,215
有形固定資産合計	75,405	66,192
無形固定資産		
のれん	121,230	42,693
その他	69,658	56,831
無形固定資産合計	190,889	99,525
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
差入保証金	181,543	181,530
その他	1,879	3,390
投資その他の資産合計	188,423	189,920
固定資産合計	454,718	355,638
資産合計	2,775,806	2,846,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,559	165,716
1年内返済予定の長期借入金	2,100	5,508
未払法人税等	41,609	106,658
前受金	757,231	801,261
賞与引当金	―	47,341
その他	176,759	176,406
流動負債合計	1,219,260	1,302,891
固定負債		
長期借入金	7,700	13,033
退職給付引当金	95,984	104,178
その他	5,827	3,023
固定負債合計	109,512	120,235
負債合計	1,328,772	1,423,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	861,305	472,108
利益剰余金	△477,258	△86,800
自己株式	△48,995	△48,995
株主資本合計	1,816,571	1,817,832
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△397,012	△398,092
その他の包括利益累計額合計	△397,012	△398,092
新株予約権	15,591	1,927
少数株主持分	11,882	1,929
純資産合計	1,447,033	1,423,596
負債純資産合計	2,775,806	2,846,724

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	3,726,803	4,416,572
売上原価	2,304,934	2,622,594
売上総利益	1,421,868	1,793,977
販売費及び一般管理費	1,583,881	1,717,373
営業利益又は営業損失（△）	△162,013	76,603
営業外収益		
受取利息	782	1,052
還付加算金	856	－
その他	231	669
営業外収益合計	1,871	1,722
営業外費用		
支払利息	1,258	366
為替差損	3,531	3,678
消費税等調整額	－	571
その他	0	28
営業外費用合計	4,790	4,645
経常利益又は経常損失（△）	△164,932	73,680
特別利益		
貸倒引当金戻入額	991	－
新株予約権戻入益	1,375	15,591
事業譲渡益	－	12,227
その他	－	16
特別利益合計	2,366	27,834
特別損失		
固定資産除却損	205	269
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,550	－
特別損失合計	1,756	269
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△164,322	101,245
法人税、住民税及び事業税	36,666	124,215
法人税等調整額	△16,548	△19,735
法人税等合計	20,118	104,479
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△184,440	△3,233
少数株主損失（△）	△232	△4,494
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△184,207	1,261

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△184,440	△3,233
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28,391	△1,080
その他の包括利益合計	△28,391	△1,080
四半期包括利益	△212,831	△4,313
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,598	180
少数株主に係る四半期包括利益	△232	△4,494

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	オープンシステム基盤事業	Webアプリケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,812,022	914,780	3,726,803	―	3,726,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	840	172	1,012	△1,012	―
計	2,812,862	914,953	3,727,815	△1,012	3,726,803
セグメント損失（△）	△35,989	△126,023	△162,013	―	△162,013

（注）セグメント損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報（売上高）を開示しております。

売上高

前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

（単位：千円）

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,482,944	137,713	66,664	39,480	3,726,803

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	オープンシステム基盤事業	Webアプリケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,161,194	1,255,377	4,416,572	―	4,416,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	3,161,194	1,255,377	4,416,572	―	4,416,572
セグメント利益又は損失（△）	171,020	△94,416	76,603	―	76,603

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報（売上高）を開示しております。

売上高

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
4,133,767	159,292	77,546	45,965	4,416,572

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(５) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(６) 重要な後発事象

該当事項はありません。